

# Sapporo Live Demonstration Course 2024

## 前書きのようなものとして

皆様、Sapporo Live Demonstration Course (SLDC) 2024 EPへようこそ。

本年のSLDCは北海道でCVIT2024が開催されたこともありカテーテルアブレーションに特化した形でお届けいたします。

どのような地方ライブにも、多かれ少なかれ、それぞれの中心テーマのようなものがある。

今年の近畿、KCJLでは「紡ぐ」、九州、ARIAでは「Challenge (挑戦)」

今回のSLDCは Doubt common sense and innovate new technologyです（今回からプログラム委員に就任した旭川医科大学、徳野先生の挑戦的なコピーライターの才能に感謝します）。

例年はPCI、EVT、SHDなど多岐にわたるコースを提供してまいりましたが、本年はカテーテルアブレーションに焦点を絞り、より専門的で深い議論と技術の共有を目指します。

また、本年はハイブリッド形式での開催となり、現地参加とウェブを通じたリモート参加の両方が可能となります。これにより、日本中の多くの参加者が、最新の治療技術や臨床的な見解に触れられることを期待しています。今回から手稲溪仁会病院の永原先生にもプログラム委員に就任頂き、会場での座長でディスカッションのリードをお願いします。

現地でのライブデモンストレーションはもちろんのこと、ウェブを通じた視聴でも臨場感あふれる実演をお届けできるよう鋭意準備を進めております。実演をより具体的に想起できるように各セッションにコピーを充ててくれたのは今回からプログラム委員に就任した札幌心臓血管クリニックの構成作家、北井先生です。

SLDCは、カテーテル治療の最前線の現場をお届けする場として機能してきました。とはいえ、皆さんもご存知の通り、医療技術の進化は止まることを知りません。また、一方で成熟をむかえる分野もあります。まさに今後、パルスフィールドアブレーション (PFA) という新星が現れつつあります。PFAはその革新的な非熱性技術で、既存の方法を一気に時代遅れにしてしまうかもしれません。この会が、「あの時はこんな技術もあったな」と振り返られる日が来るのは、そう遠くないかもしれません。しかし、その前に、ここで得た知識と技術を、目の前の患者さんにどう活かせるかを追求することが何より重要です。

もしかしたら、この場で学んだことが、次の革新に繋がるのかもしれません。

今後の技術進化を楽しみにしつつ、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

特定非営利活動法人サッポロライブデモンストレーションコース 理事長  
Sapporo Live Demonstration Course (SLDC) 2024 EP Course Director



八巻 多 (札幌厚生病院)